



歴史と伝統をつなぐ制服の歩み

千葉県立木更津東高等学校 創立100周年記念



明治11年
当時の制服は、高襟のジャケットと、膝丈のスカートで、足元は黒い靴を履いていた。



昭和27年～平成12年
従来のセーラー服は、制服の中心となっていたが、この頃から、ジャケットとスカートの組み合わせが主流となった。また、スカートは、膝丈から、膝下丈へと伸びていった。



昭和30年～昭和40年
この頃、セーラー服は、制服の中心となっていたが、この頃から、ジャケットとスカートの組み合わせが主流となった。



昭和40年～昭和50年
この頃、セーラー服は、制服の中心となっていたが、この頃から、ジャケットとスカートの組み合わせが主流となった。



昭和50年～昭和60年
この頃、セーラー服は、制服の中心となっていたが、この頃から、ジャケットとスカートの組み合わせが主流となった。

